

教科：公民

科目：公共

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 11 組～ 12 組

教科担当者：宇田 尚人

使用教科書：（ 第一公共711 第一出版社 高等学校新公共 ）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実をもとに概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方や生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を把握し、選択・判断するための手掛かりとなる基礎的・基本的な知識を確実に習得する。また、資料を用いて、必要となる情報を調べ適切に選別し効果的にまとめる技能を身につけるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用して公正に判断する力や考えたことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や世界の各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	A 公共的な空間を作る私たち 【知識及び技能】 ・公共的な空間における基本的原理を理解し、憲法など現代社会でどのような形で生かされているかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自立した主体になるために、青年期を生きる私たちが何を考え、行動すればよいかを考える。 ・選択・判断の手掛かりとなる考え方を学び、実社会の問題を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な問題について主体的に考え、解決に向けて他者と協働して取り組む。	・指導事項 青年期、生命倫理をめぐる問題、民主主義の成立、法の支配 選択判断の手掛かりとなる考え方 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 考査 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 出席、授業態度	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	B 法的な主体となる私たち 【知識及び技能】 ・法によって個人の権利や自由が保障され、社会の秩序が形成・維持されていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現実社会において、起こる問題について知り、その解決策を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な問題について主体的に考え、解決に向けて他者と協働して取り組む。	・指導事項 憲法と基本的人権、消費者の自立と消費者市民社会、日本の司法制度と国民の司法参加 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 考査 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 出席、授業態度	○	○	○	11
	C 政治的な主体となる私たち 【知識及び技能】 ・民主政治を推進するために果たすべき責任を理解する。 ・主権者である国民と国会、内閣の関係を理解する。 ・国際社会の現状と日本の安全保障を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主権者として、現在の選挙制度の課題や国際社会での日本の果たすべき役割について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な問題について主体的に考え、解決に向けて他者と協働して取り組む。	・指導事項 選挙の意義、日本の選挙制度、国会の地位・権限と現在の課題、内閣と議院内閣制、国際社会のしくみ、日本の防衛政策とその変容 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 考査 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 出席、授業態度	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

後期	D 経済的な主体となる私たち 【知識及び技能】 ・経済の基本的なしくみや経済的意 思決定について理解する。 ・市場経済や金融市場の役割や機 能、また、現状とその課題について 理解する。 ・経済のグローバル化と国際社会に おける問題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現在の雇用についての課題を理解 し、安心して働くために必要なこと を考える。 ・日本の社会保障制度の課題を知 り、持続可能な社会保障制度のを維 持するための方法を考える。 ・国際社会における貧困や格差につ いて、日本がどう向き合うべきか考 える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な問題について主体的に考 え、解決に向けて他者と協働して 取り組む。	・指導事項 3つの経済主体、労働基本権、現代 の企業、市場の役割、金融のしく み、財政の目的、経済のグローバ ル化 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 出席、授業態度	○	○	○	16	
	定期考査			○	○		1	
	E 持続可能な社会づくりの主体とな る私たち 【知識及び技能】 ・持続可能な社会づくりに向け、 様々な課題の現状を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・様々な資料を踏まえて課題の現状 を把握し、解決に向けて自分なりに 考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な問題について主体的に考 え、解決に向けて他者と協働して 取り組む。	・指導事項 地球環境問題、資源・エネルギー 問題、生命倫理、情報、国際社会 ・教材 教科書、プリント	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 出席、授業態度	○	○	○	12	
定期考査			○	○		1		
							合計	70

飛鳥高等学校 定時制 令和5年度 年間指導計画

教科 公民科 科目 政治・経済 対象 2～3年生

教科担当者 宇田 尚人 ㊞

使用教科書 政経703 実教出版 最新 政治・経済

使用教材 プリント

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
4月	行動の基準	規範・慣習・道徳と法について考える	知識・技能 ワークシート	2
	法の概念	自然法・国際法・国法の間係を考える	知識・技能 ワークシート	2
5月	法の概念	自然法・国際法・国法の間係を考える	知識・技能 ワークシート	2
	国家・国家権力	歴史的な国家の推移をモデル化して考え、民主政治の基本原理解を 理解する	知識・技能 ワークシート	2
	世界の政治体制	君主制・共和制の概念と社会主義国家の国家体制を理解する	知識・技能 ワークシート	2
	日本国憲法	大日本国憲法と日本国憲法の成立過程、考査前のふりかえり	主体的に学ぶカ ワークシート	2
6月	定期考査			1
	日本の政治機構	権力分立の考え方と日本国の政治機構を比較して考える	思考・判断 ワークシート	2
	日本の立法権	国会の構成と権能を学ぶ	知識・技能 ワークシート	2
	日本の行政権	内閣の機構と権能を学ぶ	知識・技能 ワークシート	2
7月	日本の司法権	裁判と裁判所だけでなく、警察官の職務等にも触れながら、日本の 司法制度について、できるだけ具体的に考える	思考・判断 ワークシート	2
	地方分権	地方自治の意義・概念・地方自治体について学ぶ	知識・技能 ワークシート	2
	国家に求められること の変化	夜警国家・福祉国家・行政国家と各々の統治機構	知識・技能 ワークシート	2
9月	国政への国民の政治 参加	政党・選挙・請願について学ぶ、考査前のふりかえり	主体的に学ぶカ ワークシート	2
	定期考査			1
	国際社会の形成	ヨーロッパ近世～中世における主権国家成立と国際関係を概観す る	知識・技能 ワークシート	2
	国際法と国際機関	国際慣習や条約と国際連盟・国際連合を見ながら、現状とあるべき 姿を考える	思考・判断 ワークシート	2

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
10 月	冷戦と現代の国際政治	東西軍事経済ブロックと地域的経済・政治統合の例を概観する	知識・技能 ワークシート	2
	経済学の概念	経済史・用語の概略をつかむ	知識・技能 ワークシート	3
	経済主体	三つの経済主体と経済循環を理解する	知識・技能 ワークシート	3
11 月	市場	市場機構について需要供給によって価格が決定される様相を理解する	知識・技能 ワークシート	2
	市場	需要供給曲線の使い方を理解する	知識・技能 ワークシート	2
	企業	企業の意味と各種企業について学び、その存在意義を考える	思考・判断 ワークシート	2
	企業の巨大化	株式会社から独占企業への変容について考える、考査前のふりかえり	主体的に学ぶカ ワークシート	2
12 月	定期考査			1
	財政政策と租税	わが国の租税制度と他国との比較により、特徴を考える	知識・技能 ワークシート	2
	金融	金融の意義と金融政策を学ぶ	知識・技能 ワークシート	2
1 月	財政政策と租税・金融	わが国の租税制度と他国との比較により、特徴を考える 金融の意義と金融政策を学ぶ	知識・理解 ノート	2
	グローバリゼーション	日本経済の国際化について考える	思考・判断 ワークシート	1
	戦後日本経済のあゆみ	戦後日本を概観する	知識・技能 ワークシート	2
	産業構造の問題	第1次産業と、大企業・中小企業といった生産における格差を考える	知識・技能 ワークシート	1
2 月	国際分業と貿易政策	産業革命・世界大戦における各国の利害と対外政策を学ぶ	知識・理解 ノート	2
	国際収支と為替相場	細目にとらわれず、日常触れる身近な事柄として理解する	知識・技能 ワークシート	2
	国際機関と経済協力	ブレトンウッズ体制やEU等を学び、TPP等現代的な課題を考える	思考・判断 ワークシート	2
	国際社会の課題	南北問題・環境問題などを考える、考査前のふりかえり	主体的に学ぶカ ワークシート	2
3 月	定期考査			1
	経済発展の光と影	公害・環境問題、雇用・労働問題、社会保障について手分けして調べる	思考・判断 ワークシート	2

飛鳥高等学校 定時制 令和5年度 年間指導計画

教科 公民科

科目 倫理

対象 2～3年生

教科担当者

宇田 尚人

㊞

使用教科書

実教倫理702 実教出版 詳述倫理

使用教材

プリント

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
4月	ガイダンス	授業概要、評価方法、生徒心得を踏まえて授業の受け方を理解できる。	—	1
	青年期 自己形成	個性や認知に関して、他者との違いや人間の心の在り方について理解できる。	知識・技能 ワークシート	3
5月	人間とは何か	知性や感情、人間と動物の違いなどに関して自分の考えを意欲的にまとめることができる。	思考・判断 ワークシート	2
	ギリシア思想①	徳、善、愛などに着目して、自己との関わりにおいて先哲の思想を理解しようとしている。	知識・技能 ワークシート	2
	ギリシア思想②	〃	知識・技能 ワークシート	2
	キリスト教	イエスの言行やキリスト教思想のうち主に隣人愛について学び、自己の課題と結び付けて思索できる。	知識・技能 ワークシート	2
6月	イスラーム教	ムハンマドの言行やイスラーム教の戒律から主に六信五行について学び、自己の課題と結び付けて理解できる。	知識・技能 ワークシート	2
	前期中間考査			1
	仏教①	仏陀の言行や大乘仏教の思想から主に「苦」のとらえ方について学び、自己の課題と重ね合わせて考えを深めることができる。	知識・技能 ワークシート	2
	仏教②	〃	知識・技能 ワークシート	2
7月	中国思想①	孔子や孟子の言行、仁や礼の言説から、望ましい社会生活がいかなるものかについて考えを深める。	思考・判断 ワークシート	2
	中国思想②	老子や荘子の基本的な考えをとりあげ、自らの人生観について考えをまとめることができる。	知識・技能 ワークシート	2
	宗教・芸術と人生	宗教美術や文学作品を取り上げ、自らの生き方を関わらせて美について表現できる。	思考・判断 レポート	2
9月	既習事項のまとめ	考査前の振り返り	主体的に学ぶカ ワークシート	2
	前期期末考査			1
	人間の尊厳	ルネサンスと宗教改革時代の代表的思想家の言説と資料を取り上げ、ヒューマニズムについて理解を深めることができる。	知識・技能 ワークシート	2
	科学・技術と人間	近代の自然観、経験論と合理論の基本的な考え方について学び、真理という視点に着目してそれらを思索できる。	知識・技能 ワークシート	2

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
10月	民主社会と自由	社会契約説の基本的な考え方について学び、現代の社会と関連させながら個人と国家の関係を考える。	知識・技能 ワークシート	2
	人格の尊厳	人間の道徳的な生き方がどのようなものか、カントの思索を手掛かりに義務という視点に着目して考えることができる。	知識・技能 ワークシート	2
	社会と個人	主に功利主義の倫理的な考え方を学び、幸福という視点に着目して個人や社会の問題を思索できる。	知識・技能 ワークシート	2
	近代的人間の見直し ①	実存主義の代表的思想家を取り上げ、原典資料や解説などから近代のとらえ方とその批判を読み取ることができる。	思考・判断 ミニレポート	2
11月	近代的人間の見直し ②	言語哲学の代表的思想家を取り上げ、原典資料や解説などから近代のとらえ方とその批判を読み取ることができる。	思考・判断 ミニレポート	3
	近代的人間の見直し ③	構造主義の代表的思想家を取り上げ、原典資料や解説などから近代のとらえ方とその批判を読み取ることができる。	思考・判断 ミニレポート	3
	現代の暴力に抗して①	20世紀の代表的思想家を取り上げ、原典資料や解説などから戦争や暴力に対してどのような批判を行ったかを読み取ることができる。	知識・技能 ワークシート	3
	現代の暴力に抗して②	20世紀の代表的思想家を取り上げ、原典資料や解説などから格差に対してどのような批判を行ったかを読み取ることができる。	知識・技能 ワークシート	2
12月	既習事項のまとめ	考査前の振り返り	主体的に学ぶ力 ワークシート	2
	後期中間考査			1
	古代日本人の思想	日本人の心情や考え方の特質がどのようなものかを学び、その人間観や自然観の多層性を理解できる。	知識・技能 ワークシート	2
1月	日本の仏教思想	主に鎌倉時代の仏教を展開した代表的な先哲の考え方を学び、無常、禪、わび・さび、いきなどの文化的特徴を理解する。	知識・技能 ワークシート	2
	近世日本の思想①	伊藤仁斎など儒学者の考えを手掛かりに、儒学と日本的な文化の関係について考える。	知識・技能 ワークシート	2
	近世日本の思想②	本居宣長など国学者の考えを手掛かりに、日本の伝統思想がどのようなものかを理解する。	知識・技能 ワークシート	2
	西洋思想の受容と展開①	西周や福沢諭吉などの考えを手掛かりに、西洋思想がどのように日本に受容されたかを理解する。	知識・技能 ワークシート	2
2月	西洋思想の受容と展開②	夏目漱石などの考えを手掛かりに、西洋思想がどのように日本に受容されたかを理解する。	思考・判断 レポート	2
	西洋思想の受容と展開③	丸山眞男らの考えを手掛かりに、第二次世界大戦に対する批判を理解する。	知識・技能 ワークシート	2
	生命、環境、科学技術の諸課題と倫理	テクノロジーの発展がもたらした倫理の諸問題を学び、自らの意見を意欲的に表現できる。	思考・判断 レポート	2
	〃	〃	思考・判断 レポート	2
3月	後期期末考査			1
	社会と文化にかかわる諸課題と倫理	福祉や宗教に関する倫理の諸問題を学び、自らの意見を意欲的に表現できる。	思考・判断 レポート	2